

『真の国際人』の姿 ～ 出会うことで、役割を果たし 夢を追い続ける ～

2024 年 2 月 22 日『がん哲学外来あびこカフェ』代表：中野綾子氏から【樋野先生 長女の
スーは『ピグミーマーモセット（中野綾子氏）』、次女のルーは『春風のようなゴリラ（森
尚子氏）』、三女のメーは『狼ではなく 食いしん坊のコツメカワウソ（戸田裕子氏）』です。
三人揃ってスルメ三姉妹。三姉妹の使命は、一度聞いただけでは わからないという樋野先
生の言葉を やわらかくかみ砕いて 差し上げる事です。】との心温まるメールが届いた。大
いに感動した。

2020 年 12 月 6 日東京都恩賜『上野動物園の旅』（画像）に、wife と参加したものである。ゴ
リラなど多数の動物を見学した。約 350 種とのことである。『樋野動物園』（画像）のメン
バーが企画された。まさに、『あなたは そこにいてだけで 価値ある存在』（2016 年 KADOKAWA
発行：画像）の確認の時であった。

今から 6 年～8 年前であろうか？ 筆者が、順天堂大学国際教養学部 教授 兼任時代の取
材の記事【若者よ、次代の新渡戸稲造を目指せ。～ がん医学の権威、樋野興夫先生が説く
『真の国際人』の姿 ～』（画像）が、今回、鮮明に思い出された。【敬愛する人物は、教
育者・思想家の新渡戸稲造だという樋野興夫先生。現在では がん医学の分野でその名を馳
せる先生が、『医学を通して見出した人生の哲学』をうかがった。】と記載されていた。【医
師を志した きっかけを教えてください。】と真摯な下記の質問を受けたものである。

- 1) 3歳、というのは本当に小さな頃のことだと思います。年齢を重ねるにつれて、考え方や人生観が変
わることはありませんでしたか？ 夢を追い続けられた理由は なんだとお考えですか？
- 2) 先生は現在、大学でも教えていらっしゃいますね。先生が、ここで目指す事は 何ですか？
- 3) 体と世界は同じ、と考えたとき、日本は一体、体内にたとえたら、どんな役割を果たしているのだし
ょう？
- 4) 日本が肝臓になるために、私たちはどんな人物になることを志したらいいのでしょうか？

『尊敬する人物に出会うことで、夢を追い続けることができる』と答えた。

上野動物園の旅



表紙作者 仔犬 Nako

上野動物園の旅

2021 年 1 月 15 日 発行

編集者 三国浩晃（東久留米読書会スタッフ）
森尚子（目白がん哲学外来カフェ代表）

発行 「樋野動物園」出版局



「樋野動物園」1 周年記念誌
個性と多様性

「樋野動物園」出版局

樋野動物園 2 号



宇宙から地球上の動物を眺める

『樋野動物園』園長

個性と多様性

樋野動物園出版局

あなたは そこにいてだけで 価値ある存在

順天堂大学医学部教授
がん哲学外来理事長

樋野興夫

苦しみに耐えれば、 希望の光が見えてくる。

無理をして一番になろうとしなくてもいい——。
人は誰でも役割を持って
生まれているのです。

新渡戸稲造「武士道」
内村鑑三「代表的日本人」ほか
「がん哲学外来」を導く言葉集

KADOKAWA

10万部
ベストセラー
医師が
おくる名言

若者よ、次代の新渡戸稲造を目指せ。

～がん医学の権威、樋野興夫先生が説く「真の国際人」の姿～



〈 Profil 〉

樋野 興夫(Okio Hino)

島根県出身。順天堂大学医学部病理 腫瘍講座教授。医学博士。

彼の発案で2008年1月から3ヶ月間、順天堂医院に開設された「がん哲学外来」が評判を呼ぶ。翌年、NPO法人「がん哲学外来」を設立、理事長に就任。

《 研究分野 》

人体病理学 実験病理学 腫瘍病理学

敬愛する人物は、教育者・思想家の新渡戸稲造だという 樋野興夫先生。現在ではがん医学の分野でその名を馳せる先生が、医学を通して見出した、人生の哲学をうかがった。

「尊敬する人物に会う」ことで、夢を追い続けることができる。

——医師を志したきっかけを教えてください。

樋野 僕は小さい頃、3歳ぐらいかな、体が弱くてね。よく病気になるんです。でも、家の近くに病院がなくて、医者にかかるには、わざわざ隣町まで行かなければいけなかった。僕が病気になる度、祖母がおんぶしてそこまで連れて行ってくれました。その時に、僕は「医者になろう」と決めました。それからずっと「医者になる」という気持ちは揺らぐことがありませんでしたね。

——3歳、というのは本当に小さな頃のことだと思います。年齢を重ねるにつれて、考え方や人生観が変わることはありませんでしたか？ 夢を追い続けられた理由はなんだとお考えですか？

樋野「尊敬する人物に出会う」こと、それが大事なんじゃないかな、と思います。僕は19歳からずっと、毎日、読書をしていて、先人達の書物や言葉から「人間がいかに生きるべきか」という哲学を学びました。僕が浪人していた時、南原繁の教え子だったという教師に出会って、南原の思想や人間性を聞いているうちに、南原の本を読むようになった。南原は東京大学の総長を務めたこともある政治学者で、当時の教師からいろいろと話されたものです。そして、その南原が「我が師」と仰いたのが、新渡戸稲造と内村鑑三です。それが僕と彼らとの出会いでした。

新渡戸は、日本が誇る国際教養人です。東大の総長を務めていたこともあり、当時の学生から「彼に勝る教養深い人はいない」とまで言われていたくらいですから。それくらい、彼の教養の深さはすごい。そんな彼の著書をどんどん読み漁り、今では彼の言葉や考え方が私の五臓六腑に染み渡っています。まさに、彼の全てが私の血肉となっていますよ。先ほど、私は毎日読書を欠かしていないと言いましたね。実は、最近の本は全然読んでいません。新渡戸をはじめ、内村鑑三、岡倉天心、矢内原忠雄、南原繁、この5人の著書だけを読んでいるのです。だから、オススメの本は何かと問われたら、いつも彼らの本を、と答えています。